CD-Ⅰ型消防ポンプ自動車

仕　様　書

平成２６年度

光地区消防組合消防本部

第１章　総　則

１　目的

この仕様書は、光地区消防組合消防本部（以下「当本部」という。）が平成２６年度に配備するＣＤ－Ｉ型消防ポンプ自動車（以下「本車両」という。）の仕様について定める。

２　適合法令等

本車両の製作は、仕様書によるほか、次に掲げる法令等に適合し、緊急自動車として承認を得られるものとする。

（１）動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和６１年自治省令第２４号）
（２）道路運送車両法（昭和２６年法律第１８５号）
（３）道路運送車両の保安基準（昭和２６年運輸省令第６７号）
（４）日本消防検定の定める消防車両の安全基準
（５）その他の関係法令等

３　車両概要

本車両は、３トン級消防専用シャシに消防ポンプ装置（消防検定 A-2 級以上）、無線電話装置及び消防活動上必要な資機材を装備し，迅速確実な消防活動を行うことができる消防ポンプ自動車とする。

４　製作上の問題処理等

（１）本車両の保管責任は、当本部の最終検査を受けるまでの間は、受注者が負うものとする。
（２）仕様内容に疑義が生じた場合、又は仕様の変更が必要な場合は、当本部とその都度協議すること。
（３）仕様内容については、当本部の解釈に従うものとする。
（４）本車両の製作にあたり、工業所有権その他法令等に抵触する問題が生じた場合は、受注者においてこれらの問題を解釈し、その旨を当本部に報告すること。

５　製作上の注意

当車両は、常時登録された車両総重量の状態において十分耐え得るもので、次のとおりとする。

（１）標準装備以外の各装置及び部品の取り付けは、ボルト締めを原則とすること。
（２）車体全般にわたり、防水、防蝕及び防錆措置を十分行うこと。
（３）清掃、点検、調整及び修理が容易に行えるものとすること。

（４）使用取扱い上の安全及び操作性を十分考慮すること。
（５）全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分考慮すること。
（６）装備品等は機能的、かつ、バランスよく配備すること。
（７）堅牢にして長期の使用に十分耐え得るものであり、かつ、維持管理が経済的に行えるものとすること。
（８）洗浄ができ、かつ、残水等の生じない構造とすること。又、車体等で塗装剥離の恐れのある部分には、適切な保護対策を講ずること。
（９）法定点検整備が容易に行える構造とすること。

６　提出書類
（１）契約後速やかに当本部と細部打ち合わせを行うものとし、打ち合わせ後１ヵ月以内に次の書類を提出し、承認を受けること。
ア　製作工程表
イ　シャシ５面図
ウ　キャブ改造図（空気呼吸器固定装着、後部座席改造含む）
エ　車両カタログ
オ　艤装諸元明細書
カ　艤装外観５面図（縮尺 1:20）
キ　車体骨格図
ク　装備品取付図
ケ　ポンプ関係図
コ　配管図及び配管系統図
サ　電気系統配線図
シ　梯子昇降装置関係図
ス　積載資器材明細一覧表
セ　その他当本部が指定するもの
（２）納入時に、次の書類を提出すること。（A4 サイズ）
ア　完成外観５面図
イ　シャシ取扱説明書
ウ　整備要領書
エ　改造自動車等審査結果通知書の写し
オ　総務省令で定める技術上の規格に適合した旨を示す適合書の写し。
カ　消防ポンプ試験成績表
キ　受託試験合格及び安全基準適合プレートの写し
ク　ポンプパーツリスト
ケ　装備品等一覧表（保証書付）及び取扱説明書

コ　主要資機材一覧表（保証書付）及び取扱説明書

サ　納品書、納品明細書

シ　計量証明書

ス　その他当本部が指定するもの。

7　検査

（1）検査申請

検査の申請は任意様式の書面をもって行い、検査日、検査場所を明記すること。

（2）中間検査

艤装中間検査は、必要に応じ塗装前に実施する。

（3）完成検査

ア　受注者は、各部給脂等点検を入念に実施し、燃料を満タンにして検査を受けること。

イ　車両等の取り扱い要領については、各専門業者による指導を受注者の責任において実施すること。（納車後、指定日１回以上）

8　納入

（1）完成車両は、緊急自動車の登録、山口県陸運局山口陸運支局の行う新規登録検査後納入することし、新規登録に係る費用は受注者が負担する。なお、自動車重量税、自動車賠償責任保険料及びリサイクル料は発注者の負担とする。

（2）納入場所

光市光井六丁目１６番１号　　光地区消防組合消防本部

（3）納入期限

平成２７年２月２７日

（4）発注台数

1台（取り付け品及び取り付け装置等含む）

9　保証期間

保証期間は完成車納入後2年とする。

ただし、保証期間後であっても艤装又は材料不足による故障等にあっては、無償でこれを取り替え又は修理すること。

第２章　仕　様

１　主要諸元

シャシは消防検定を受けたCD-Ⅰ型4輪駆動消防ポンプ自動車とし、平成26年度に作製されたもので、性能・諸元及び装備は当本部において公表したものとする。

（１）シャシ関係

ア	キャブ形状	４ドア・ダブルキャブ（消防専用シャシ）
イ	ミッション	MT使用（マニュアルトランスミッション）
ウ	エンジン	水冷式４サイクルディーゼルエンジン
エ	排気量	２９９０ｃｃ以上
オ	最高出力	１４０ＰＳ以上
カ	ホイールベース	２７５０mm以上
キ	乗車定員	５名
ク	車両総重量	８０００ｋｇ未満
ケ	バッテリー	２４Ｖ－１００ＡH以上
コ	オルタネーター	２４Ｖ－８０ＡH以上
サ	タイヤ	ラジアルタイヤ（国産）
シ	燃料タンク	６０Ｌ以上
ス	サイズ	全幅約1.900mm以下
		全高約2.750mm以下
		全長約6.000mm以下

（２）消防自動車として次のものを装備すること。

ア　ＰＴＯ装置
イ　パワーステアリング・パワーウインド
ウ　ＡＢＳ・排気ブレーキ
エ　冷却水（サブラジエター）
オ　オイルパンヒーター
カ　エアコン（純正）
キ　オイルクーラー
ク　エンジン回転計・ＰＴＯアワーメーター・エンジン油温計
ケ　電動キャブチルト
コ　サンバイザー（助手席を含む）及びサイドバイザー
サ　ディスチャージヘッドランプ
シ　ルームランプ灯
ス　助手席マップランプ
セ　フロント牽引フック

ソ　集中ドアロック
タ　フロントバンパー上部アルミ縞板張り
チ　フォグランプ
ツ　バックモニター

2　ポンプ関係

（1）消防ポンプ関係

ア　型式：一段ボリュート式水ポンプ又は二段バランスタービンポンプ
イ　メンテナンスフリー構造であること。
ウ　ポンプ性能
（ア）日本消防検定協会の行う動力消防ポンプ規格 A-2 級以上で合格品とする。
（ただし、同等品は不可とする）
（イ）規格放水圧力　0.85MPa にて 2.0 ㎥/分　以上
（ウ）高圧放水圧力　1.40MPa にて 1.4 ㎥/分　以上

（2）主ポンプ動力伝導装置

主ポンプの動力伝導装置は、シャシのトランスミッション後方にポンプ駆動ギアケースを設置し、エンジン動力を有効にポンプに駆動するもので、操作は運転席のレバーまたはスイッチにより、容易に動力の切断が出来るものとする。

（3）無給油式真空ポンプ（全自動揚水装置付）

ア　真空ポンプは四枚羽根以上を有する無給油型偏心ロータリー式とする。
イ　真空ポンプ動力伝達装置は、ギア式とする。
ウ　メンテナンス性を考慮し気水分離装置等一切設けない構造とし、水が混入しても支障が無い構造とすること。
エ　真空ポンプ内が洗浄できる構造とすること。
オ　真空ポンプの性能は、附属吸管を連結して 30 秒以内に水銀柱 640mmHg 以上とすること。

（4）ポンプ不凍液装置

ア　不凍液装置を車体右ポンプ室内に設けること。
イ　ごく少量の不凍液を中央吸水管部より吸入させて、主ポンプ等主要部の凍結を防止する構造とする。
ウ　不凍液が逆流しない構造とすること。

（５）吸水管

吸水管は車両中央部のポンプ室後部に対し、直角方向に搭載し両サイドから吸水可能な（手動式横引き吸管巻取）構造とすること。

（６）吸吐水口

ア　７５ｍｍボールコック式とし、中継口を兼ねる構造とし両側に設け、取り外し可能な中継口用６５ｍｍメス金具を常備すること。

イ　吐水口は車両両側に各２個づつ６５ｍｍボールコックを装備すること。

（７）ポンプ操作装置

ア　ポンプ室の左右の見易い位置に、自光式の圧力計・連成計・揚水装置及びエンジンスロットル装置を設けること。また、右に冷却水装置を設けること。

イ　デジタル流量計を左右の見易い位置、積算流量計を右側の見易い位置に取り付けること。

ウ　機能は次によるものとする。

（ア）各ボールコックの開閉状況の確認表示

（イ）冷却水通水表示

（ウ）真空ポンプ駆動表示

（エ）真空ポンプ自動回転スイッチ

（オ）真空ポンプ停止スイッチ

（カ）真空ポンプ非常作動スイッチ

（キ）真空ポンプ３０秒タイムオーバー警報

３　ボディ艤装

ボディは左右各２面（計４面）をシャッター（無塗装）で覆い、左右各１面及び後部１面（計３面）は扉式収納ボックスとし下記の構造とすること。（別途協議）

（１）ポンプ室下部サイドボックス（位置については図面参照）

左右とも下開扉式（ステップ兼用扉）とし、右サイドボックスには発電機及びコードリールを収納するためにスライド式の板を設けること。（別途協議）

（２）ポンプ室、ポンプ室上部（位置については図面参照）

ア　ポンプ室上部は資機材収納スペースとし、可能な限り空間を確保した筒抜け構造とし、下側の縞鋼板にポンプ室点検口を設けること。（別途協議）

イ　照明装置を、前部及び後部対称に４個設けること。（別途協議）

ウ　右側に、不凍液、冷却水バルブを設けること。

エ　左右のポンプ室吸吐水口横面に、吸管スパナ、ワンタッチストレーナー、クア

ドラノズル 40mm を取り付けること。（別途協議）

（３）両側面後部シャッター内（位置については図面参照）

両側面後部はシャッターで覆い、収納スペースとして可能な限り空間を確保した構造とし、右側はレイアウトが変更可能な棚を設けること。（別途協議）

両側面後部シャッター下部には、ホースブリッジが収納可能なスペースを設けること。

ア　左側下部に可搬ポンプ（C 級以上）を積載し容易に引き出せる構造とすること。（別途協議）

イ　左側には以下の資機材を取り付けられる構造とすること。

（ア）MH キーハンドル

（イ）消火栓鍵

（ウ）ディスクストレーナー

（エ）消火器 20 型　1 本

（オ）MC 分岐金具（65-50.40）

ウ　左側には予備ボンベ 2 本を収納できる棚を設けること。（別途協議）

（４）車体後部

ア　車体後部下部には電動アシスト型ホースカー（型式 TS-R120 全幅約 955mm×全長約 110mm×タイヤ格納時高さ約 500mm）を自動昇降式で取り付け、ホースカーは MC 分岐金具（65-65.50）、クアドラノズル 50mm2 本を取り付けることができる構造とすること。（別途協議）

イ　アシスト型電動ホースカーの上部は、ダンパー式の扉とし、可能な限り空間を確保した構造とし、開口部の左右にガイドローラーを取り付けること。（別途協議）

ウ　後部側板（内部）の構造について

（ア）ホースカー室内左側に金てこ、スコップ、管鎗 65mm を取り付けられる構造とすること。

（イ）ホースカー室内右側にスタンドパイプ、管鎗 65mm を取り付けられる構造とすること。

エ　車体後部右側に、上部へ上るための埋め込み式ステップを可能な限り設け、ホースカー自動昇降装置の操作スイッチ及び上方にホースカー固定装置ノブを取り付けること。電動アシスト型ホースカー操作スイッチについて下記に示す。

操作スイッチ「下降」により、油圧ポンプにつながりホースカーが回転運動と共に下り始める構造とすること。

操作スイッチ「上昇」により、油圧ポンプにつながりホースカーが回転運動

と共に上り始める構造とすること。

オ　車体後部左側に、上部へ上るための埋め込み式ステップを可能な限り設けること。

カ　シャシ付のナンバープレートを車体後方左下部に取り付けること。

キ　車体後部にバックカメラを取り付けること。（別途協議）

（５）車体上部の構造について

ア　車体上部一面はアルミ縞鋼板とする。

イ　車両上部は作業が容易に行えるようフラットとし、左側に手動昇降装置式ステンレス製三連梯子を取り付けれる構造とすること。（別途協議）

ウ　支点（強度最低 70 ㎏以上）を 4 箇所以上設けること。（別途協議）

エ　車体上部に二重の手摺りを設けること。（別途協議）

オ　三連梯子架台の右側に一連梯子、左側に鳶口を 2 本取り付けること。

カ　取り外し可能な、アルミ製ボックスを取り付け、可搬用（3 本分割式)、車両用吸管（4 本分割式)、およびバスケットストレッチャーが収納可能な構造とすること。（別途協議）

キ　キャビン天井はアルミ縞鋼板張りの作業台兼用積載スペースとして活用するため、荷重をかけても変形しない構造とし周囲に二重の手摺りを設けること。（耐荷重については別途協議）

（６）サイドステップをキャブ後部まで延長し、バッテリーには引き出し装置を設けること。また、ステップ等は、全てアルミ縞板製とすること。

（７）泥除けは全輪に取り付けること。

（８）積載品は、落下防止の為ラッシングベルトで確実に固定し、ワンタッチで容易に脱着出来るようにすること。

（９）車両止めは、給油口付近に取り付けること。（別途協議）

（10）シャッターの巻取支点は車体上方に設定し、収納スペースの確保に努めること。

（11）シャッター内に水等が溜まらない構造とすること。

（12）残水排除用配管（ドレン）は、パイプ等により車体下部まで配管し、排水する構造とすること。

（13）オイルパンヒーターコンセント（キャップ付）は、キャブ右側外部に取り付けること。

４　キャブの構造

（１）キャブはダブルキャブ型とすること。

（２）シートは防水仕様とすること。後部座席にあっては空気呼吸器の脱着に支障が無い構造とすること。（別途協議）

（3）キャブ後部は空気呼吸器取り付け装置 3 式取り付けができる様に張出式とし、座席背面シートは二段落ち込み式とすること。(空気呼吸器取り付け装置は軽量な物を使用すること)

（4）運転席と助手席の間に収納ボックスを設けること。(別途協議)

（5）キャブ左右センターピラー及び左右後部ピラーに乗降用の手摺りを設け旗立てパイプとしても使用出来る構造とすること。

（6）前方座席上部オーバーヘッドコンソールに音声合成装置付電子サイレンアンプ、無線機、各種電装品スイッチ等を収納できるようにし、各スイッチには名盤を貼り付けること。(別途協議)

（7）キャブ内後部座席前方に書類収納ボックスを設けること。(別途協議)

（8）後部座席前方にステンレス製パイプを取り付けるとともに、S 字フックを 5 個移動可能な状態で取り付けること。

（9）キャブ内後部座席シート下部は物入れボックスとすること。また、そのボックスはキャブ後部ドアを開けた時両サイドから資機材等が取れるよう、引き出し式のものとすること。(別途協議)

(10) 消防章（樹脂製メッキ）はキャブフロント部に取り付けること。

(11) キャブ内の床は、できるだけ低くしエンジン部等の点検が容易に行えるダブルキャブチルト構造とすること。また、点検時に三連梯子との接触防止のための装置を設けること。

(12) ダッシュボードにバックカメラ用モニターを取り付けること。

(13) キャブ上部には赤色灯（大阪サイレン　NF-ML-VJ2M-LB2 同等）を取り付けること。

5　無線装置等

（1）デジタル無線化に対応するため、キャブ上部の後方に予めデジタル無線対応のアンテナ取り付けベースを確保し、アナログ系統及びデジタル無線系統に対応するケーブルをキャブ内まで配線すること。(別途協議)

　消防無線機本体及び送受話器ハンドセットは旧車両から当本部が乗せ替えるため、受注者の負担は含まないが、取り付け場所を確保すること。(別途協議)

（2）配線等

ア　配線については天井内張を通すと共に、漏水の無いように防水措置を講ずること。

イ　本車両に配備する無線局は、緊急走行や災害現場活動時及び周囲の騒音等による通話障害の無いように措置すること。

ウ　車両の装置等から発生する電気的な影響を受けないよう雑音防止措置を講ずる

こと。

（３）キャブ両後部側面に埋め込み式スピーカー、ボリューム及び内外部切替スイッチ付無線送受話器取り付けボックスを設け、キャブ内部まで配線しキャブ内にもスピーカーを設け配線すること。（別途協議）

６　警音装置

（１）電子サイレンアンプ音声合成付をキャブ内オーバーヘッドコンソールに埋め込み式にて取り付けること。また、左右折及びバックギアメッセージは各ギアに連動して警報メッセージを発する構造とすること。

（２）キャブフロントに、LED 赤色点滅灯をキャブチルト時に支障がない位置に２個取り付けること。（別途協議）

（３）車体後部に、LED 赤色点滅灯を２個取り付けること。（別途協議）

（４）車体両側面上部に、LED 赤色点滅灯を各２個づつ取り付けること。（別途協議）

（５）拡声マイクは、フレキシブルとし運転席右側上部に取り付けること。

７　照明装置（図に示す通り）

（１）メタルハライドサーチライト（35W）を車体上部前方の左右に伸縮式で取り付けること。（別途協議）

（２）メタルハライドサーチライト（35W）を車体上部後方の左に伸縮式で取り付けること。（別途協議）

（３）車両両側面上部に LED 作業灯を各２個づつ、車両後方に LED 作業灯を２個取り付けること。（別途協議）

（４）計器灯（LED）を左右計器板上部に各１個づつ取り付けること。

（５）照明ランプをポンプ・機関室に取り付け、運転席から「入」「切」操作ができる構造とすること。

（６）キャブ内天井に LED 照明灯を設けること。

（７）LED 照明ランプを、左右ポンプ室上部、吸管巻き取り装置上部、後部の資機材収納庫及び左右ポンプ室下部サイドボックスに取り付け、運転席から「入」「切」の操作ができる構造とし、シャッター及び扉の開閉で点灯・消灯できる構造とする。

（８）路肩灯を左右後輪の前部に各 １ 個設け、前照灯と連動して点灯・消灯できる構造とすること。

８　塗装・文字等

（１）車体は、特殊化学液で十分錆落としの上、燐酸塩被膜を形成後プライマー塗装、パテ、水研ぎ、サフェーサー塗装を行い、熱風乾燥炉にて十分乾燥させ、赤色塗料（ハイソリッドウレタン塗料　H-ECO　レッド）で吹き付けを行い、再度熱風乾燥

炉にて十分乾燥させること。

（２）アルミ縞板は、銀塗装とすること。

（３）車体下回りは黒色塗装とすること。

（４）記入文字は全てカッティングシートで左から記入し、文字は丸ゴシック体とすること。（文字の大きさ、記入場所については別途指示する。）

（５）後部ドアに「光地区消防組合」と進行方向から記入すること。

（６）キャビン天井のアルミ縞鋼板張りの作業台兼用積載床上に「光Ｐ４」と左書きで対空表示を記入すること。（寸法は縦 70cm×横 70cm 程度とする。）

（７）標識灯に「光北 1」と記入すること。

（８）文字色は、標識灯が黒、対空表示が反射材入り白色とし、その他は白色とすること。

（９）その他のロゴマーク、ライン等については別途指示する。

（10）燃料給油口付近に「軽油」と記入すること。

９　その他

（１）下開き扉式ステップは全てチェーンレスとすること。

（２）ステップを開いた時の安全確保のため、反射テープ（黄色）を貼ること。

（３）足掛けは、車両左右側板に取り付けること。

（４）エンジンオイルのレベルゲージは、キャブチルトをしなくても点検できるものであること。

（５）ホースカー自動昇降装置は、自動式であれば別途協議可能とする。

（６）左右後輪付近の車両側面に、支点（最低強度 100Kg）を各 2 箇所設けること。

（７）車両後部の埋め込み式ステップの他、転落防止のための手摺りを設けること。

（８）車両の右側とは運転席側のことを言い、左側とは助手席側のことを言う。

10　取付品・取付装置

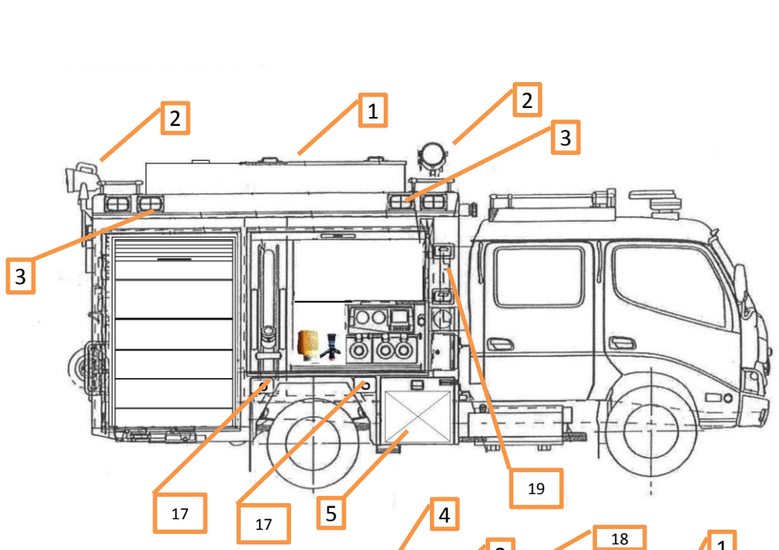
No	品名	数量	備考
1	ポンプ不凍液装置	2式	
2	ポンプ圧力計	2式	100mm（自光式）
3	ポンプ連成計	2式	100mm（自光式）
4	自動揚水装置	1式	ソフトタッチ式
5	エンジンスロットル装置	2式	
6	冷却水装置	1式	
7	流量計	2式	デジタル式
8	積算流量計	1式	
9	電子サイレン（拡声装置付）	1式	大阪サイレン　TSK-5102V
10	赤色警光灯	1式	大阪サイレン NF-ML-VJ2M-LB2 同等
11	照明灯（サーチライト）	2式	メタルハライド 35W　NML35
12	照明灯（サーチライト）	1式	メタルハライド 35W　NML35
13	作業灯（LED）	6個	側面 4 個　後部 2 個
14	標識灯	1式	赤色警光灯と一体型
15	車外無線機送受話器取り出し口	2式	キャブ後部付近に取り付け（左右）
16	フロント赤色点滅灯	2個	LF21
17	後部赤色点滅灯	2個	LF12
18	側面赤色点滅灯	4個	LF21 保護枠付
19	キャブ内灯（LED）	1式	
20	ポンプ室上部室内灯	4個	
21	エンジン室内灯	1式	
22	署マーク	1個	樹脂製
23	エンジン回転計	1個	シャシ純正
24	エンジン油温計	1個	シャシ純正
25	後退灯	1個	シャシ純正
26	バックブザー	1個	
27	バックカメラ	1個	
28	空気呼吸器取り付け装置	3式	ブラケットホルダー
29	後輪照射灯	1式	
30	支点	4個	強度 70 ㎏以上のもの
31	支点	4個	強度 100kg
32	泥除け	4枚	
33	訓練旗立て	1式	

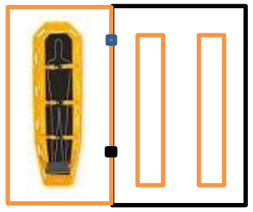
３４	スライド式引き出し装置	１式	可搬ポンプ用
３５	ローラー装置	２式	
３６	ホースカー自動昇降装置	１式	
３７	吸管巻き取り装置	１式	

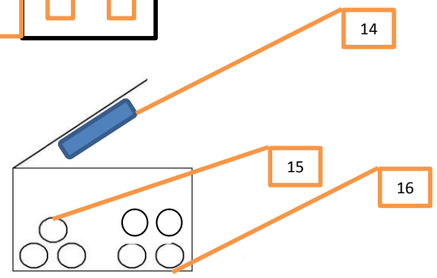
11　付属品・装備

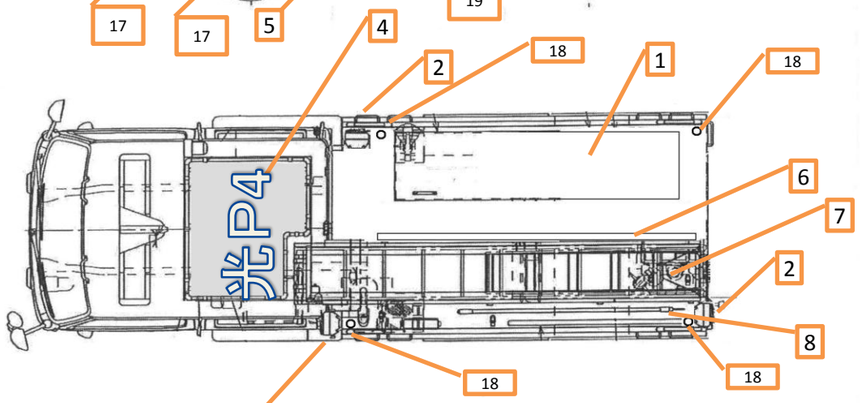
No	品名	数量	備考
1	吸管	1本	φ75×10m　金具AC　ソフト軽量型
2	吸管	1式	φ75×2.3m×4（4本分割式）
3	ストかご	2個	φ75プラスチック製（ワンタッチ式）
4	吸管枕木	2個	φ75用　ゴム製
5	吸管ロープ	2本	15m　ビニロン製
6	車輪止め	2個	ゴム製
7	消火栓金具 （吸管）	2個	φ75ネジメス×φ65町野式メス　AC製
8	中継用媒介金具	2個	φ75ネジメス×φ65町野式メス　AC製
9	消火栓開閉金具	1本	09KA850SS（日の出式同等品850mm）
10	消火栓鍵	1丁	
11	吸管スパナ	2丁	φ75用
12	コードリール（30m）	1個	ハタヤサンデーリールGS-30同等品
13	スタッドレスタイヤ	6本	国産
14	900W発電機	1台	ホンダEU9i　900kva
15	放口媒介金具	4個	AN-65MC（2個）、ﾖﾈAN-65（2個）
16	鳶口	2本	1.8m
17	金てこ	1本	φ25×850mm
18	剣先スコップ	1丁	
19	三連梯子（ステンレス製）	1脚	関東梯子㈱KHFL-SIW74
20	電動アシストホースカー	1台	TS-R　120
21	ポンプ工具	1式	冷却ストレーナー用スパナ
22	車両用工具	1式	
23	ケーブルチェーン	1式	
24	ホースブリッジ	2個	スーパーL型　65×1本用
25	異径媒介	6個	65メス-50オス（各2個） 50メス-40オス（各2個） 65メス-40オス（各2個）
26	65mm消防用ホース（黄）	5本	1.6Mpa検定品以上
27	可搬ポンプ用吸管	1本	3分割式φ65×6m
28	可搬用吸管ロープ	1本	10m　ビニロン製
29	吸管かご	1個	φ65プラスチック製
30	吸管ストレーナー	1個	φ65プラスチック製

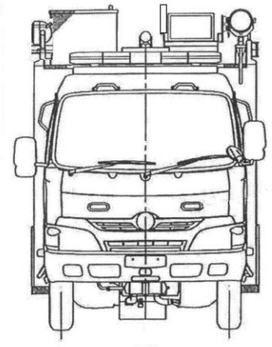
３１	クアドラノズル	４個	50mm（各 2） 40mm（各 2）
３２	ラインプロポショナー （クアドラ用） 泡アタッチメント （クアドラ用）	１個 １個	FP-40　360 FN-50QLX
３３	背負式消火水のう	３個	ファイヤーファイター
３４	バスケットストレッチャー	１個	モデル 71-S
３５	資機材収納箱（アルミ製）	１個	車両上部
３６	ホースバック	６個	Saver`s オリジナルホースバッグダブル （RS-W-02）
３７	ステップチョーク	２個	
３８	65mm 管鎗	２個	PP65EXS-L
３９	ノズル（ダブルコントロール）	２個	NV-65W-Ⅱ
４０	パイロン（伸縮式）	４個	
４１	スリング	１本	シグナルスリングⅢE-100
４２	ホースバンテージ	５個	HB100
４３	投光器・三脚	１式	ハタヤ　MLCX-110KH
４４	携帯式照明 LED	２個	ジェントススーパーファイア SF-755X
４５	分岐管（マルチ）	１個 １個	WB-65MC 65 メス-65・50 オス（各 1 個） WB-50MC 65 メス-50・40 オス（各 1 個）
４６	単梯子	１脚	関東梯子㈱KHFL-TOT31

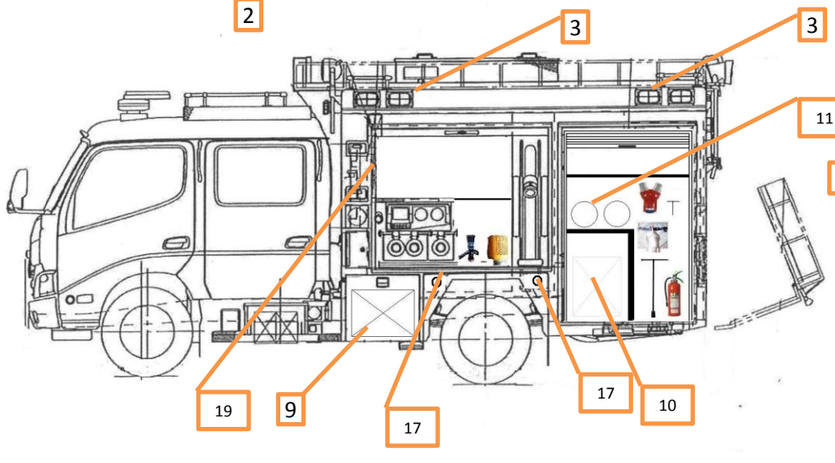


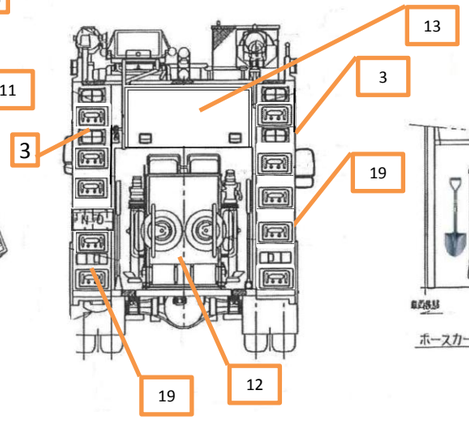


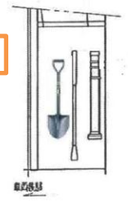


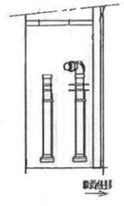


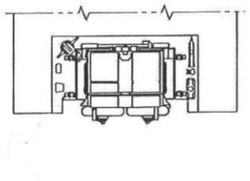












1	アルミボックス	21	0
2	メタハラ作業灯	22	0
3	LED作業灯	23	0
4	鋼板製ステップ	24	0
5	右収納ボックス	25	0
6	単梯子	26	0
7	三連梯子	27	0
8	蔦口	28	0
9	左収納ボックス	29	0
10	左シャッター内(可搬収納)	30	0
11	左シャッター内(ボンベ収納)	31	0
12	電動アシストホースカー	32	0
13	後部収納ボックス	33	0
14	バスケットストレッチャー	34	0
15	可搬用吸管	35	0
16	車両用吸管	36	0
17	車両側面支点	37	0
18	上部支点	38	0
19	埋め込み式ステップ	39	0
20		40	0

CD-Ⅰ型消防ポンプ自動車
外観図及び積載品配置図
光地区消防組合